

## 大好き本沢のしぜん

三年 毛利 芽子

今日の朝、学校に行く時、道のわきの草を見たら、白いしもがたくさんついていました。いつもは、緑色の葉っぱなのに、今日は、雪がつもったみたいに真っ白で、太陽の光にあたって、キラキラかがやいていました。

葉っぱをさわってみたら、つめたくてパリパリしていました。同じ通学はんのお友だちが草をふんだら、サクサクサクという音がしていました。

「ふーっ。」

といきをはくと、白くなりました。

学校の帰り道、山を見たら、雲がかかかっていて、あまり見えませんでした。お家に帰ってもう一ど山を見たら、雲がなくなっていて、ぎ王とりゆう山など、高い山が真っ白になっていました。

着がえが終わってからもう一ど見てみると、今どは、山がフラミンゴの羽のように、ピンク色にそまっついていて、とてもきれいでした。夕日の色はオレンジだけど、山の白とまざって。ピンク色になったのかなあと思いました。

空には白い月も、うすく出ていました。私は、本沢のしぜんや、本沢から見えるけしきが大好きです。いよいよ冬がきます。早く雪がふってほしいなあと思います。